中央
図書館

屋内
あそび場

文化・芸術

京丹後市都市拠点公共施設整備に関する
市民広聴会

市民活動
支援

子育て
支援

申込
不要

本市では、多世代の交流拠点となる図書館や屋内のあそび場等の子育て支援施設などを中心とした複合施設を**「都市拠点公共施設」**と位置付け、峰山町新町地内を整備予定場所として検討を進めておりました。（※詳細は中面をご覧ください。）

この度、市議会での関連予算の否決という結果を受けて、改めて、本事業の望ましいあり方について検討を進める上で、整備基本計画の内容についてご説明するとともに、市民の皆様からご意見をいただくため、
市民広聴会を以下の日程で開催いたしますので、ぜひご参加ください。

※基本計画策定時の外観イメージを元に加工したあくまで参考イメージ
建物デザインは今後検討

広聴会当日の内容

1．整備事業の概要、議会審議結果等

2．説明に対するご質問・ご意見等

丹後町	弥栄町	久美浜町
10/19（日）	10/19（日）	10/23（木）
10：00 ～ 11：30	14：00 ～ 15：30	19：00 ～ 20：30
丹後庁舎 2階 204会議室	弥栄庁舎 3階 大会議室	久美浜庁舎 2階 大会議室

大宮町	網野町	峰山町
10/24（金）	10/25（土）	10/25（土）
19：00 ～ 20：30	9：30 ～ 11：00	14：30 ～ 16：00
アグリセンター大宮 1階 視聴覚室	アミティ丹後 2階 研修室	峰山地域公民館 1階 大会議室

◆ **出席予定者**　市長ほか関係職員

◆ **その他**　どなたでも自由にご参加いただけます。（事前申込不要）

◆ **お問合せ先**　京丹後市建設部都市計画・建築住宅課　都市・地域拠点整備推進室
電話番号：0772-69-0530　　E-mail：toshi-kenchiku@city.kyotango.lg.jp

都市拠点公共施設整備事業の概要（基本計画によるもの）

市長メッセージ ～人口減少の中でも、未来に活力をしっかりとつなぎ、希望あるまちづくりのために～

＜**都市機能構想のねらい**～大動脈と直結する「大交流のまちづくり」と「多極・多彩で一体型のまちづくり」へ＞

市民のみなさまへ

今、人口減少対策が重要な課題となっている中、市民の皆様とともにぜひ活かしていきたいのは、山陰近畿自動車道の延伸実現とその効果です。いよいよ、都市部との交流の大動脈となるこの自動車道が、近い時期、市内最大の商業集積地域近郊（大宮・峰山町域近辺）に接続し、網野町から久美浜町までの延伸・全線ルートの決定も目前に来ております。本市全体、市域全域の豊かな発展のため、ぜひこれを最大限活かしたまちづくりを進めていきたいのです。

このため、一つ。近く実現する「大宮峰山インターチェンジ」（仮称）への延伸を市域全体に活かしていくため、付近にひろがる市内最大規模の商業・人流の集積のメリットをはずみに、内外の各分野の人と活力の交流を広く呼び込み、本市域全体の活力の向上をけん引していく（都市拠点機能）。同時に一つ。大切な市内各6町それぞれにおいて、地域資源を活かしながら、都市機能の分担と日常生活に必要な生活上の各種機能の確保・集積を図り、どこにお住まいであっても大切な生活上の利便性や交流機能を維持し、さらに高めていく（地域拠点機能）。そしてその上に、この都市拠点機能と地域拠点機能を等しく、市内全体で多彩にネットワーク（公共交通・デジタル網）を進め、市域全体のまちの活力と賑わいづくりの発展へと「大交流のまちづくり」と、市内どの地域でも利便よく安心と活力の向上を増進することができる「多極・多彩で一体型のまちづくり」を、市民の皆様とともに、進めてまいります。

このような市域全体の豊かで多彩な発展を展望し、大宮峰山インター（仮称）実現のタイミングを捉えた第一弾として今般、構想していますのが、以下でお示しします「都市拠点公共施設」です。広く市内全域からご利用・活用いただけるものとして、また、以下の各機能を複合的に整備することで、子育て世代をはじめ全世代にわたる市民の皆様が相互に交流も広げていただける施設としてご提案をさせていただいたものです。

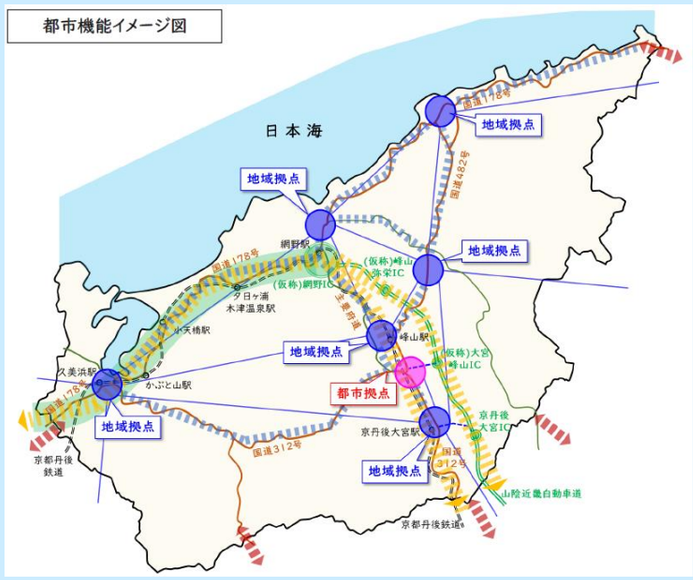
以上、第３次総合計画（本年２月策定）で定めます、都市機能構想（注：「都市」とは京丹後市全域を指します。）をめぐり、まちづくりの骨格的な考え方にふれ、ごあいさつをさせていただきました。本件をめぐり、この間、市議会の議員の皆様から幅広く真摯なご議論、今回議案へのご議決（否決）をいただきました。しっかりと受け止めて、ご議論を貴重な糧に、よりよい形で前進させていきたいと願っています。そして、市民の皆様とともに一層のご理解を賜り、お声を賜りながら、引き続き、しっかりと進めてまいります。

私たちの京丹後とまちの大切な子どもたちの将来の希望や安心、活力支援につないでいくためのこそのもの。ぜひ、市民の皆様、お一人お一人のお声を広くお聞かせください。

京丹後市長　中山　泰

全体概要（第3次京丹後市総合計画「都市機能構想」、都市拠点構想）

- 第3次京丹後市総合計画「都市機能構想」において示すとおり、**利便性の高い機能を集積する「都市拠点」、日常生活機能に加え６つの町それぞれの地域特色に応じた機能を高める「地域拠点」を形成**し、「多極ネットワークによる多彩で強靭な一体型のまちづくり」を目指しています。
- （仮）大宮峰山インターチェンジの供用開始の機を捉え、令和11年度完成を目途に、都市拠点エリア内に整備する新たなまちの顔となる施設として、**子育て支援、図書館、文化・芸術活動などの施設機能を有した誰もが利用できる複合施設として「都市拠点公共施設」の整備**を検討してきました。
- 本資料に記載する整備事業の概要は、本年6月補正予算提案時のものであり、関連予算が市議会で否決となりましたので、施設整備の望ましいあり方については、様々な観点から改めて検討してまいります。



参考イメージ

（児童書・絵本スペース）
出典：海南ノビノス HP
（和歌山県海南市）

（屋内のあそび場）
出典：にっこりあ HP
（宮津市）

（自習・閲覧スペース）
出典：MARUTASU HP
（香川県丸亀市）

導入機能（複合的に整備を想定していた各施設機能、目指す方向性）

＜複合化のねらい＞

図書館、子育て支援、文化・芸術活動支援といった異なる施設機能を複合的に整備するとともに、子育て支援機能の中でも、あそび場と相談・母子保健といった性質の異なる行政サービスを同一施設で提供することにより、利便性向上等だけではなく、**全世代の市民の皆様が相互に交流できる**など、今までにない循環や相乗効果が期待できます。

【内観イメージ】

図書館機能

- 本市図書館・室の中枢機能を担う「中央図書館」、「学びの拠点」
- 全ての市民の居場所として全世代が気軽に立ち寄れる図書館、行きたい・そこに居たいと思える空間、本を媒介とした人とのつながりづくりといった役割を果たす施設を目指します。

子育て支援機能

- 「京丹後の子どもの未来のために、“認める・受け入れる・応援する”」というビジョンに基づき、視点を変えてできることを伸ばす、「プラス視点」の子育て支援
- 子育てが楽しくなる環境づくりを目指し、子ども・妊産婦・子育て世帯への切れ目のない包括的支援を行います。

文化・芸術活動支援機能

- ICT等を効果的に活用し、地理的な制約を超えた交流や学び、多様な文化・芸術活動や生涯学習など、クリエイティブな活動が可能な場の提供を目指します。
- 防音機能や可動間仕切り等を備えた多目的室等を整備し、市民の創作活動等を支援する場を整備します。

議会審議結果（論点・論点の主なポイント）

※論点及び論点の主なポイントについては、事務局において現時点で総括的にまとめたものであり、今後具体的に改めて整理する予定です。

論点①：財政的な持続可能性への懸念

- 将来の市民の資産となる施設への計画的な先行投資であり、不健全な借金ではない。
- イニシャルコスト・ランニングコストが高額で将来負担が増える。
- 財政健全化指標には余裕がある。
- 現状の財政健全化指標に余裕があると思えない。
- 他の施設の統合等についても併せて議論すべき。
- 生活基盤整備や修繕、長寿命化等の事業を優先すべき。
- 中期展望以降の大型事業（クリーンセンター等）の費用が見えない。

論点②：市民への説明・合意形成の不足

- 答申やアンケート、都市拠点構想等で一定市民ニーズは取り込まれており、合意形成も図られている。
- 事業自体の認知度が低く周知不足であるとともに、市民や議会への説明が不足している。
- 用地取得の可能性、過疎債の活用等を鑑みると今が最善
- 基本計画変更に際しての説明及び合意形成が不足している。

論点③：立地・規模・機能の妥当性への疑問

- 商業施設と隣接することで地域経済の活性化に寄与する。
- 一極集中が加速し、地域間格差が拡大する。均衡ある発展に反する。地域拠点整備とバランスをとるべき。
- 整備場所は都市拠点の中に必ずしもこだわらなくていい。
- 子育て支援機能、図書館機能は人口減少対策として重要
- 高齢者利用や市民ホール機能が欠如している。

論点④：整備手法・運営手法について

- 複合施設として新たに整備することが効果的であり、他市事例からも明らか。
- 既存施設の活用や分散整備といった可能性から検討すべき。
- 時代の流れによりニーズや状況も変化するため、中期的な施設整備や段階的整備も検討すべき。
- 図書館を指定管理により運営することに不安がある。

※過去の市議会における審議の模様は、京丹後市議会HPからご視聴いただけます。
右記の二次元コードをご参照ください。

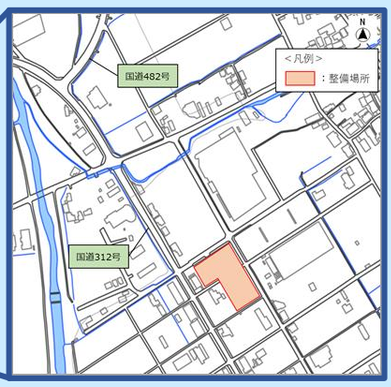
（6月定例会及び9月定例会における議案第102号（関連予算）審議映像の抜粋）

都市拠点公共施設整備事業の概要（基本計画によるもの）

整備予定地（提案時の当初想定です。市民・議会等の意見も踏まえ他の候補地も含めて今後検討します。）

【都市拠点エリア】

【整備予定場所（提案時）】



峰山町新町地内（国道312号・482号沿いの商業機能が集積するエリア）

※左図に示す整備予定場所は、本年6月補正予算提案時の想定であり、都市拠点エリア内において、商業機能が集積するエリア、かつ、５つの選定要件（土地利用規制・開発可能性・浸水想定、一定の敷地規模・土地の利用形態）に基づき絞り込み・評価を行った結果として選定したものです。

想定規模感

- 敷地面積：約5,700㎡（公簿面積ベース）

施　設	想定面積
屋内のあそび場（一時預かりスペース含む）	約800㎡
保健センター機能（乳幼児健診等）	約360㎡
授乳室・おむつ替え・子ども用トイレなど	約50㎡
調理室	約60㎡
飲食スペース	約30㎡
相談室（3室想定）	約45㎡
執務室（子育て関連）	約250㎡
図書館	約2,000㎡
サービスカウンター・執務室（図書館関連）	約200㎡
多目的室・創作室・音楽室・コワーキングスペースなど	約400㎡
カフェ・ラウンジ	約100㎡
その他共用部（廊下・階段・エレベーターなど）	約1,700㎡
延床面積の想定規模感	約6,000㎡
広場	約300㎡
駐車場（想定台数95台、公簿面積ベース）	約2,400㎡

概算事業費

＜初期費用＞

項　目	金　額
用地測量・取得	3.3億円
都市計画作成・事業認可	0.1億円
基本設計	1.2億円
詳細設計	3.1億円
土地造成	1.4億円
建設工事	44.7億円
その他工事（外構等）	0.9億円
合計	54.7億円

＜管理運営費用＞

- 年間試算：約1.6億円～約1.7億円（直営～指定管理）

※運営は指定管理を念頭に置きながら、直営も含めて検討予定

※図書館は、週7日開館、開館時間10時～20時の場合の試算

検討経緯

時　期	内　容	
H30.2	図書館協議会　答申	今後の市立図書館のあり方について
R3.10	こども未来まちづくり審議会　答申	今後の子育て支援拠点等のあり方について
R3～4年度	京丹後市都市拠点構想　策定	京丹後市都市拠点等の在り方検討会議（計8回開催）
		若者ワークショップ（高校生から40歳まで）
		中学生ワークショップ（3年生を対象に総勢11クラス）
R5年度	京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画　策定	京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画策定検討会議（５回開催）
R6.12	議員全員協議会	しんざん小学校に隣接する用地確保に向けた現状説明
R7.1～3	都市拠点構想及び基本計画　改定	京丹後市都市拠点公共施設整備基本計画等検討会議（２回開催）